

## 小学部3年 生活単元学習学習指導案

日 時：令和5年11月28日（火）9:40～11:10

場 所：小学部3年1組教室、小学部多目的室

生 徒：男子5名、女子3名 計8名

指導者：森愛子T1、熊谷康子T2、高橋由布子T3、  
久保市昌子T4

### 1 単元名 げきだんすまいる③～「いま、なんさい？」のげきをはっぴょうしよう～

### 2 児童と単元

#### (1) 児童について

本学習グループは、普段は2学級に分かれているが生活単元学習と遊びの指導は合同で行っている。コミュニケーションに関しては、友達や教師との会話を楽しめる児童、発声や身振りで要求や気持ちを表現する児童等様々である。全員言葉による指示や文字、イラスト等の視覚的支援によって自分のやる事が分かって取り組める。勝ち負けがある簡単なゲームで遊んだり、小グループに分かれて活動したりする中で、8人で一緒に活動することに慣れ、グルーピングを変えても受け入れて取り組む様子が見られるようになってきた。

#### (2) 単元について

本学年では、年間を通して絵本を題材にした劇遊びとその発表会に取り組んでいる。絵本の読み聞かせによって言葉や動作等様々な表現方法を知り、日常生活場面でも生かすことができると考える。国語科の学習では、繰り返しの言葉や挿絵の動作を模倣するなどお話の楽しさを感じている様子が見られる。これまでも絵本「おぼけのうんどうかい」や「スイミー」の劇遊びに取り組み、登場人物になりきって表現することを楽しんでいる様子が見られた。

本単元で取り上げる「いま、なんさい？」は、だじゃれによる物語の進行が楽しい絵本である。登場人物のせりふを模倣して、友達と言葉の掛け合いをする場面を設定することで「野菜、あじさい、ちがう」など繰り返しのある言葉の響きを楽しみながら、自信をもって発声しやすいと考える。また、せりふに関連する小道具の製作をすることで、よりイメージをもって劇遊びに取り組むことができると考える。

劇遊びを存分に楽しむ中で、自分たちの発表を友だちや教師に見てもらいたいという気持ちにつながることを期待している。発表会に向けた招待状作りなどの準備の中で自分の意見や意思を伝えたり、活動を選択したりする場面を設けることができる。劇遊びを通して自分の役割を果たし、物語を最後までやり遂げることで、友達と一つのを完成させる楽しさや達成感を味わえると考え、本単元を設定した。

#### (3) 指導について

##### ① 「やりたい」（魅力的な役割・活動の設定）

- ・ 絵本の世界を十分に楽しめるように、せりふを繰り返したり、友達と交互に言い合ったりする場面を設定する。
- ・ 劇団としての一体感を高めるために、げきだんすまいるTシャツを準備し、着用する。
- ・ 演じる役や作る小道具を選択する場面を設定する。
- ・ 学習の始まりや活動のタイミングに気付けるよう、アラームや音楽を流す。
- ・ 自分たちで劇練習の前に発表会場の準備に取り組んだり、劇中で必要な小道具を選び出したりできるように、会場の床や小道具には、置き場に絵カード、写真カード等を貼る。
- ・ 本時の学習の説明等、板書は視覚的に分かりやすい手立てを用意する。

##### ② 「できた」（学びが実感できる評価の工夫）

- ・ 声の大きさや声をそろえてせりふを話せたかなどについて子ども同士の評価の場面を設ける。
- ・ 活動に自信をもって取り組めるように、言葉だけでなくうなずきや表情、花丸カード等を使った即時評価を行う。
- ・ これまでの学習の成果をいつでも振り返られるよう、活動の様子等の写真を掲示する。発表までの学習の見通しをもてるように、学習計画表を教室に掲示する。
- ・ 学習の成果を披露し、様々な人に認められる機会となるように、近隣の小学校との交流会や校内で発表会をする。

### 3 単元の目標（育成を目指す資質・能力）

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
・物語の大まかな流れが分かり、せりふを模倣したり、必要な小道具を製作したりする。	・言葉のもつ音やリズム、絵のイメージを感じ取り、言葉や動作で表したり小道具を操作したりする。	・劇遊びを存分に楽しみ、内小友小学校や小学部の友達に見てもらいたいという気持ちをもつ。

### 4 目標の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・絵本の挿絵や板書等の情報を頼りにして、やることに気付いて活動している。	・絵本のせりふや繰り返しの言葉を大きな声で話したり、身体表現をしたりしている。	・発表する相手が分かり、発表会に向けた準備をしている。

### 5 指導計画（総時数 37 時間）

時数	主な学習活動	主な目標 資質・能力 【知=知識及び技能 思=思考力、判断力、表現力等 学=学びに向かう力、人間性等】	主な評価規準 観点〔方法〕 【知=知識・技能 思=思考・判断・表現 主=主体的に学習に取り組む態度】
17	ハローのかいで はっぴょうしよう ・新しい絵本の読み聞かせ、せりふあそび ・Tシャツ作り ・ペープサート作り ・ハローの会事前学習 ・横断幕作り ・リモート交流のあいさつ練習 ・発表の練習 ・ハローの会（内小友小学校との交流）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・活動内容が分かり、製作活動や発表会の準備や練習をする。【知】</li> <li>・せりふや繰り返しの言葉を発しながら絵本を楽しむ。【思】</li> <li>・内小友小学校の児童の前で発表する。【学】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「誰と」「何を」「どこに」準備したらいいかが分かって活動している。【知】</li> <li>・せりふや繰り返しの言葉を発している。せりふに対応してペープサートを上げている。【思】</li> <li>・教師の絵本の進行に合わせてせりふを言ったり身体表現をしたりしている。【主】</li> </ul>
20 (本時 9・10 /20)	クリスマスはっぴょう かいをしよう ・クリスマス発表会事前学習 ・劇の小道具作り ・飾り作り ・ポスター作り ・招待状作り ・劇の練習 ・発表会の受付、進行の練習 ・劇の発表 ・振り返り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の活動が分かり、友達と協力して小道具等の製作活動をする。【知】</li> <li>・劇で小道具を活用し、言葉以外での表現方法を楽しむ。【思】</li> <li>・劇の発表を完成させ、達成感を味わう。【学】</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・完成したパーツを友達と受け渡したり、同じテーブルで友達の様子を見合いながら製作活動をしたりしている。【知】</li> <li>・言葉に対応してペープサートを振ったり前方に出したりしている。【思】</li> <li>・劇の発表を終えて笑顔を見せたり、もう一回やりたいなどと感想を話したりしている。【主】</li> </ul>

6 本時の計画 (37 時間中の 26・27 時)

(1) 本時の目標

友達と声をそろえて「あじさい」「ぼんさい」のせりふを言い、掛け合いを楽しむ。知 思

(2) 目標と手立て

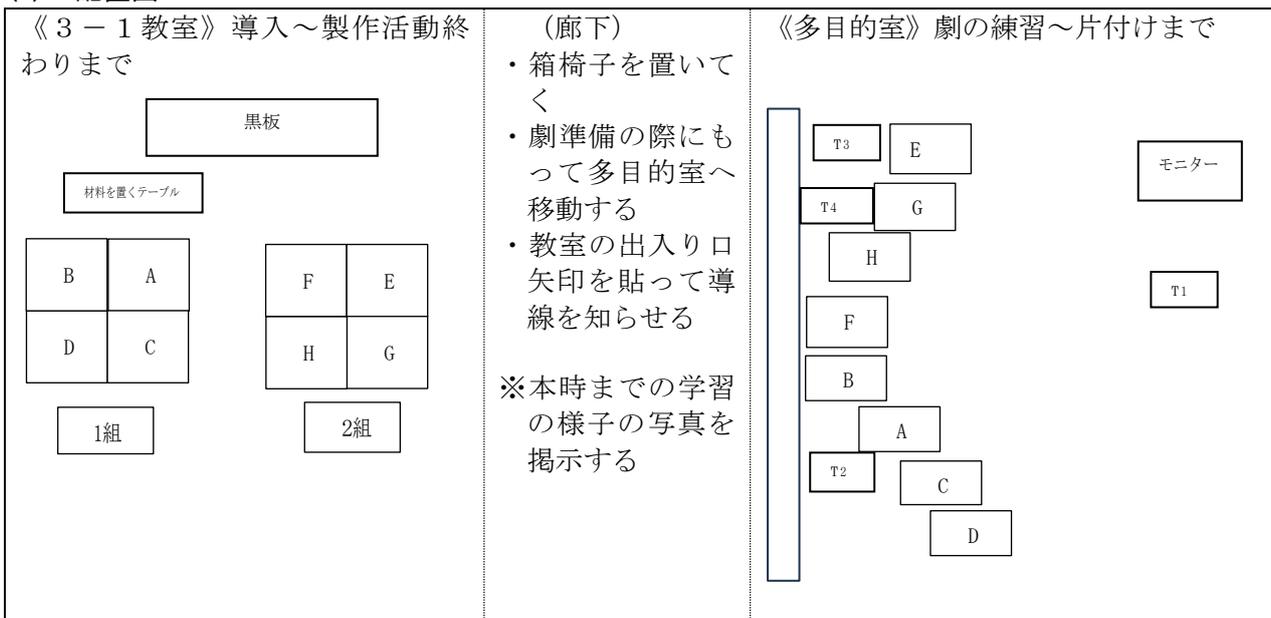
氏名 (性別)	実態	本時の目標	手立て
1組 A (男)	・ユニークな挿絵を見て笑ったり、繰り返しの言葉を言ったりして絵本を楽しんでいる。	・友達と一緒に掛け声に合わせてパネルを掲げ、せりふを話す。	・「せいの」の掛け声でパネルを上げるタイミングを取りやすくする。
1組 B (男)	・絵本の内容がおおよそ分かり、繰り返しの言葉を言って楽しんでいる。 即時に言葉を口に出すのが難しいが、教師のまねをして話をする姿が多く見られるようになってきた。	・「〇〇さい」のせりふを覚えて、タイミングよくせりふを話す。	・セリフの直前に「あじ」等言葉の始めの文字を話してせりふを知らせる。
1組 C (男)	・絵や写真、具体物を見聞きして物の名前を言ったり、言葉のやりとりを楽しんだりする。掛け声や合図があれば間合いを保つ。	・合図に合わせて友達と一緒にパネルを掲げ「せいの」と掛け声を言う。	・「せいの」のタイミングを取りやすくするために肩に触れる。
1組 D (女)	・絵本の内容が分かり、挿絵やだじゃれの面白さを理解している。一人でせりふを言って楽しんでいる。	・友達の「せいの」の掛け声を聞いて、タイミングよくせりふを言う。	・掛け声を言う友達に注目できるように指差したり、肩に触れたりして、掛け合いのタイミングを知らせる。
2組 E (女)	・友達がにぎやかに掛け合いする様子を見て、笑顔で体を揺らしたり小道具を振ったりする姿が増えてきた。	・友達の掛け声を聞いて、小道具を提示したり、手を振って「ちがーう」の動作をしたりする。	・小道具を掲げる動作の表現方法とタブレット型端末の操作による音声表現の二つを提示して自分で選択する場面を設ける。
2組 F (男)	・自分の言葉で気持ちや意思を伝え、友達を誘ったり、誘い掛けに応じてタイミングよくせりふの掛け合いを楽しむ。	・タイミングよく大きな声でせりふの掛け合いを楽しむ。	・大きな声を意識できるよう、教師が手本を示したり、声の物差しを使ったりする。
2組 G (女)	・絵本が好きで、登場人物を自分に置き換えて、話の展開やせりふを言う。友だちとのせりふの掛け合いを楽しむ姿が増えてきた。	・学級の友達と合わせて言うせりふが分かり、掛け声に合わせて言う。	・自分の写真とせりふの文字を書いて提示する。
2組 H (男)	・絵本の中の好きな場面をじっくり見たり好きなフレーズを言ったりする。 ・演示に注目したり模倣したりすることが増えてきた。	・「せいの」の掛け声で、パネルを掲げる。	・肩に触れてパネルを掲げるタイミングを知らせる。

(3) 展開

時間	学習活動	形態	指導の上の留意点、教師の働き掛け
9:40 5分	1 本時の学習について知る。	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>発表に見通しをもてるように、学習計画表を提示する。</li> <li>前時の学習を思い出せるよう製作した小道具を提示しながら演示する。</li> </ul>
めあて：「あじさい」「ぼんさい」を こえをそろえて いいあおう			
9:45 30分	2 「あじさい」「ぼんさい」の パネルを作る。 ・作るパネルを決める。 ・スタンプを押してパーツを作る。 ・切り抜いてパネルに貼り合わせる。 ・グループごとに完成したパネルを使ってせりふを練習する。 ・完成したパネルを紹介する。	全体  グループ  全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>あじさいの花や松の葉がどんな色や形をしているかに気付くように、写真や実物を提示する。</li> <li>製作や劇遊びに意欲的に取り組めるよう、どのパネルを作るか学級で相談する場面を設定する。</li> <li>1組はT2、2組はT4が製作活動を進める。</li> <li>たくさんスタンプを押せるように、台紙に枠や印を付ける。</li> <li>自分で準備や片付けを行えるよう、道具の置き場所に絵カードや写真カードを貼る。</li> <li>劇遊びにつながるように、せりふを言いながらパネルを紹介し合うようにする。</li> </ul>
10:15 10分	3 劇遊びの準備をして多目的室に移動する (1) げきだんすまいるTシャツを着る (2) 箱椅子を並べる (3) パネルやペーパーサートを運ぶ	全体 個人 グループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>児童の「やりたい」気持ちや、友達と一緒に劇の練習をしようという気持ちを高めるために、げきだんすまいるTシャツを着る場面を設ける。</li> <li>自分たちで準備ができるよう、床と箱椅子に顔写真を貼るなどの視覚的支援を用意する。</li> </ul>
10:25 30分	4 劇遊びをする。 (1) 「ちいさい」「あじさい」「ぼんさい」の場面を練習する。 (2) せりふを掛け合っているか動画を見て振り返る。 (3) 通して練習する。	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>T1は、せりふやパネルを出すタイミングが分かるように「いま、なんさい？」ときっかけのせりふを話す。</li> <li>Eが安心できる表現方法の選択のために、T3がペーパーサートとタブレット型端末を提示する。</li> <li>自信をもって演じられるように、うなずきや「まる」の動作等で、共感的に評価する。</li> <li>動画を見て、友達と一緒にパネルを掲げている、声がそろっているなどの評価をし、花丸を貼る。</li> <li>T1は、絵本の進行や児童の出番の合図を出す。T2、T3、T4は児童がせりふを話したりペーパーサートを振ったりするタイミングに気付けるよう、テレビ画面を指差したり「次だね」など言葉を掛けて知らせる。</li> </ul>
11:00 10分	5 振り返りをする。  6 次時の活動を知る。 ・「クリスマス発表会」について 7 片付けをする。	全体	<ul style="list-style-type: none"> <li>貼られた花丸を見て本時の活動を振り返る。</li> <li>学習予定表を提示し、クリスマス会までに必要な小道具等があることを知らせる。</li> <li>スムーズに取り組めるように、終わりの挨拶をしてから片付け活動を設定する。</li> </ul>
まとめ：こえをそろえて せりふを いいあえたね			

※自分の役割に取り組むための手立てはゴシック体、自分の役割を意識付けるための手立ては\_\_\_\_\_線で示す。

#### (4) 配置図



#### (5) 準備物

- ・学習計画表、BGM を流すスピーカー、活動カード、盆栽・あじさいの写真、パネル台紙、あじさいの花柄スタンプ、絵の具（青、紫）、人工松葉、糊やテープ、げきだんすまいるTシャツ、テレビ、タブレット端末

#### (6) 評価規準

- 絵本を読むときに製作した小道具を使って表現したり、大きな声を出してせりふを読んだりして絵本の楽しさを味わっている。〔児童の様子観察、完成した製作物〕

〈絵本〉「いま、なんさい？」ひがしちから BL出版